高校阿倍野新聞

創立四十周年記念号
発行所
大阪市阿倍野区
大阪南町中一丁目
大阪府立阿倍野高校
新聞部
編集発行人　伊藤　加代

＝行事予定＝

十一月
10日　四十周年記念式典、文化祭
11日　文化祭
12日　代休
19日～23日　二年生修学旅行

記念式典本日挙行

記念式典は、きょう十一月十日（土）午前十時より、本校講堂において、府知事、府市会議員、教育委員、府下大学高校中学校長、警察消防署長、PTA現旧役員委員会員、現旧教職員、同窓会役員委員、生徒代表等、多数臨出席のもとにおごそかに挙行される。本校の発展につくした方々には感謝状が贈られるが、全生徒にも記念品が贈られる。参列者に本校の現況を披露する意味で、生徒達のクラブ展示会が催され、式後ささやかながら祝賀パーティーも予定されている。

限りなき前進ここに四十年

本校は大正十一年四月府立泉尾高校内に大阪府立第十一高等女学校として誕生以来、創立四十周年、高校発足十周年という記念すべき年を迎えた。阿倍野高等女学校として、大正十二年に現在の校舎に移り、戦乱、学制の改革、そして住吉高校と交流による男女共学と荒波にもまれて、時代と共に過ぎてきた。そしてその間、連綿たる数々の伝統をとどろかせてきた。今日こゝに大阪府立阿倍野高等学校創立四十周年記念式典が、挙行される。

文化・・正義の二流の聖火のもとで力つくして真理をめざすわれらの学舎

本日文化祭

例年よりも少し早い目の九月三十日、素晴らしい晴天の基に、体育大会が催された。仮装行列や応援のアーチが禁止され例年のような派手な応援合戦などは見られなかったが、競技に若い情熱と意気をこめて熱戦が繰り広げられ、盛況の内に無事幕を閉じた。そして四十周年記念祭行事の最後を飾るべく、本日こゝに文化祭が開催される。

文化祭は文化クラブの一年間の活動の成果を発表するものであるが、これは又現在の阿倍高を、そしてその中で学業に励む阿倍高生を見てもらうものでもある。

今年は創立四十周年を迎え、記念すべき創立記念日に文化祭を挙行することになり、来賓の方や諸先生方も例年十月第二日曜に行なわれていたのとは又違う新たな気持を持って迎えられたことであろう。生徒も、四十年前の阿倍高生にも又阿倍高の最盛期と云われた時代の阿倍高生にも負けない位に阿倍高生としての誇りを持ち今日の阿倍高生を見てもらい、正しく理解してもらおうと毎日毎日努力して今日の日を迎えた。そういった意味でも、いつもとは違った興味と期待のもてる文化祭である。

写真は記念祭の記念タオル

不景気説ふっとばす

就職戦線終る

銀行は初任給一万三千円 協定で統一

◇一学期後半から初まった今年の就職戦線も終ろうとしている。今年も約五二〇社から求人が殺到し、約七〇人の就職希望者を喜こばせた。今年の就聴者の状態で銀行への就職者が例年に比べて少ないことが注目される。見事合格された諸兄姉にお祝のことばを送ろう。

会社を種類別に分けて、初任給就職率などから今年の就職戦線の模様を説明する。

最初に銀行は、各銀行の協定で初任給が統一され、昨年の一五〇〇円より一五〇〇円増額して一三〇〇〇円になった。本校からの就職率は良く、一人だけ落ちたが残りの者は全員合格した。しかし毎年三〇人前後の内定者が出る銀行だが、今年は一九人にへっている。これは銀行が残業などが多くなるために勤務条件が悪いので、希望者が例年になく少なかったからである。参考までに、他方銀行が六大都市に支店があると、六大都市手当が一〇〇〇円ほど任給されている。

次に証券会社はだいたい一三五〇〇円から一二〇〇〇円位、これもわずかだが昨年より増額されている。しかし証券会社は景気に変動があるため、希望者間にあまり人気はない。

商事会社は一三〇〇〇円から一二〇〇〇円と会社によって二〇〇〇円ほどの差がある。この方面の就職は、勤務条件も良く希望者が殺到するため、狭き門だったらしく受験生の半数近くがすべっている。

保険会社は銀行と同様に初任給が一三五〇〇円位とだいたい統一されていた。会社によって多少変りがあるが、多いところで二〇〇〇円前後の初任給の増額が認められる。住友生命では昼食と交通費全額、日本生命では昼食費七五〇円仕給される。この方円は、銀行、証券会社と同様に就職率が95％以上と良い数字を示している。

一方生産会社は例年のごとく初任給が会社によって非常に大きな差が見られる。最高と最低の差額がなんと七〇〇〇円。最高は東洋工業の一八〇〇〇円（今年の全会社を通しても最高）で昨年最高だった富士製鉄の一五五〇〇円よりも二五〇〇円上回わっている。生産会社では男女によっても一〇〇〇円から二〇〇〇円の差がある。久保田鉄工のように昼食を現物支給する会社もある。本校からは受験していないが、東レ、テイジンなどは初任給が非常に良いが入社試験の非常にむずかしいところもある。就職希望者の中にも生産会社を望んでいる者も少なくない。また、この方面への就職もかなり難関だったらしく、約四分の一の者がすべっている。

全体を見ると、初任給は平均一三〇〇〇円位で、就職率も悪くはなかった。

金融関係の会社へ沢山就職するのは本校の毎年の傾向である。

就職戦線を顧みて

求人は昨年と肩を並べる

就職課主任　佐々木美代子先生

就職!!夢多き職!!長かつた学生生活に終止符を打つて、新しい実社会に第一歩を踏み出すべき、輝かしい舞台を求められるのであるから希望者の方々は様々な夢と希望を託されるのも無理はない。私達はこの夢多き人生のスタートの場を、或はそれが終生の働き場所ともなるべき職場に、差なく送り出す事ができるだろうかと心ひそかに心配していました。

今年は多少不景気の余波を受けて去年の様な状態を望む事は出来ないという不安もありましたが、蓋を明けてみるとはや五月半ばに先頭切って求人の申込みを受け、少々学校当局を浪狽させました。その後、求人は好調なすべり出しで去年の五言五十社に肩を並べる迄に目覚ましく、非常に積極的で、かつ待遇も大会社をしのぐ者が多く将来有望で就職するにふさわしいと考へられるものが数多く存在していたという事です。

一方在校生の希望は求人に対して必ずしも平行しなかつた。求職の圧倒的多かつたのは商社であり、次に生産関係、最も嫌われたのは銀行でした。もちろん単に就職といっても男子と女子とでも大分選択条件が異っており、男子は矢張終身就職の場として安定した個人の才能が発揮出来る所が唯一の条件であり、女子はそれよりもむしろ環境とか、勤務条件とか、労働の軽重等が大きな割合を占めていたようです。銀行が非常に敬遠されたのも一にかゝってこうした条件から判断されたようです。しかし今年の九月頃から各銀行共非常に勤務が軽減されたそうで内定者が来春卒業して就職される頃にはきっと満足していただけると確信しておりますが。

次に各会社側はどんな人を求めているかについてお答へしましょう。一見会社と言いましても銀行、商社、生産関係、サービス業、等々分類してみますと各企業の性質には非常に差異を感じますので、自ら求める人物にも開きがあるだろうと考へられ勝ちであります。ところが案外各社共求めている人物は同じであるという事を知らされます。

勿論個々の条件についてはその会社の仕事の内容によって多少は異ります。例えば銀行は一般に身長一五二糎以上、体重四〇キロ以上とか、B、Mにたずさわる人は課眼〇・六以上とかで身体条件が異っていたり、成績を非常に重視する会社、成績より人物を重視する会社等々要求が異っています。然し共通して要求している事は、成績優秀にして、明朗活発、堅実で誠意ある人物、並びに社会生活を続けています。殊に成績も大切ではあるが日常団体生活を営む上から、常識の豊かな教養高き人間を求めています。所謂「ペンカチ」は最も嫌われるタイプの様ですこれから就職を目指される方は大いに各学科を通してより豊かな人間性の陶冶に励まれる事を希望致します。一回や二回の試験や面接で、そう入間の奥深いところ迄分るものでないとお考えの方があればとんでもない、人事課の方々は皆さんよりも高校の教科内容についても憧かの面接で大方の所、探知されるだけの能力をお持ちである事をお忘れなく。

最後に就職の内定通知を戴きましても卒業迄はより努力を怠りなく勉学にいそしまれる事を希望しますと共に、陰になり日向になりいろろ御指導と御援助戴きました諸先生方の御好意に感謝しつゝ所感とさせて戴きます。

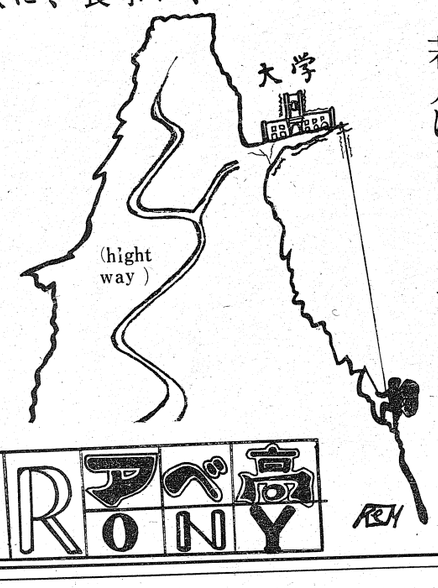
敬遠される銀行

昨年より九名減る

就職内定者

銀行19名（男1女18）
三和銀行　川端安紀子①
〃　井上　雅子③
〃　上野　昭子③
〃　坂井　和子③
〃　佐藤　節子③
〃　松本　裕子③
〃　南　安紀子③
〃　木下　康子③
〃　古久保敏子③
〃　相野　元子②
住友銀行　阿久津佳代子②
〃　荒木　玲子②
〃　上野　圭子②
〃　馬田　典子②
〃　内田　清孝①
大和銀行　山本　泰子②
日本勧業銀行　藤平　文子②
〃　宗石　慶子③
〃　西川ますみ①
日本興業銀行　野村証券
証券会社6名（女6）
日興証券　宮崎支津江③
大阪屋証券　関根　迪子②
和田得証券　高野　和子②
〃　塩谷　律子②
〃　宮脇　敏江③
商事会社14名（女14）
日商　森　健　子①
〃　木口　教子③
〃　中川　史子③
三井物産　西川　和子①
〃　松浦　久子②
三菱商事　小浜　恵子②
〃　浅井喜美子③
東洋綿花　高橋　和子②
〃　嶋谷佳代子③
江商　尼崎　陽子②
伊藤忠商事　津田加代子②
住友商事　永見　晃子②
小泉商事　斉藤　勝美③
兼松羊毛　高岡　玲子②
保険会社12名（男1女11）
日本生命　馬谷　公子①
〃　山口みち子①
〃　芥子春代子②
〃　岸岡　照美①
住友生命　原　幸　子②
〃　藤井　克子②
〃　藤本　佳子②
〃　山田　君子②
〃　山本美智子②
〃　入山　三重③
〃　肥田　恵子③
〃　吉田　勝紀①
東京海上火災　東芝
生産会社17名（男1女16）
塩野義製薬　東洋工業
ダイハツ工業　樫山KK
鐘ケ淵化学　〃
住友金属　住友生命
大阪ガス　大阪商船
武田薬品　大和紡績
久保田鉄工　千代田光学
大日本塗料　東洋陶器
大阪商船　呉製砿
大和紡績　福田みづ保②
千代田光学
東洋陶器
呉製砿
（但し○内はクラス。11月9日現在）

人生で大事な事は 睡眠に、食事に、スポーツ！



井戸

大正十一年、府立第十一高等女学校として誕生以来四十年、オメデトウゴザイマス。▼子曰「四十而不惑」阿倍高生は、まよってるのか悟ってるのか、針で突いても反応なし▼過去をなつかしむのは老人に委せましょうヤ。▼スワ火事ノベルが鳴った！だのに生徒はニヤニヤソゾロ。消防署当局がオコルのあたりまえ。▼ほんもの火事にもあのテイタラクですよ……キット。防火が放火かというところ。▼それから遅刻の多いこと。▼バタバタガラガラ、バタバタドサツ、センセ、キューバン、チコク」万古の光はいつになったら求められることやら。悪いのは、生徒か、電車か、先生か。▼〝時は金なり〟三年生進学希望の方々いかが。珍解釈によると入試は、とおるかスベルか、どちらかである。ゆえに確率は五割でアル、がんばって下さい。就職組の立派な結果に負けないように。▼今日は式典、明日は文化祭、阿倍高の二学期は忙しいですナ。よくまあ行事をうまくそろえたもの。▼授業中にショーギ迷へ戦もしたくなろうというもの。▼ウカレついでに二年生は一週間後に修学旅行、北九州へ。▼旅行先で「離れてみると親のアリガタミが判りました」とハガキを出せば親は涙を流して喜ぶことうけあい。五円分の孝行で小遣倍増とは、どうです。（もうご存知かな）▼校内改装すっかり完了。カムフラージュの感あり▼やはり外観だけで何十万円投じてもダメ。▼阿倍高のスローガン人格形成もこんなところにガンが▼「忘却とは忘れ去ること也」、リバイバルで流行してますネ。自治会、何やってるの！学校の出先機関ではナイゾ。▼購売部、いつになったら開店か。くだらぬ俗界のまねをせず……自治会、事務、学校側とどこでもいいから早くなんとかしてほしいもの。▼阿倍高イズに〝だるみ〟けっきょく、阿倍野ガ原の住人は、何か一本足らんのでしょう。▼オット、今日は四十周年記念式典でした。孔子曰は四十歳には、気の毒ですが、「四十而立」でも結構、ヤリましょう。▼いくら立派な伝統でも、然るべき後継者がいなくてはダメ。古い伝統の上に新しい伝統を形成するのが我々の努め。▼ついでに電燈も各教室につけてほしいもの。▼では限りなき前進を願って……フレー、フレー、阿倍野。

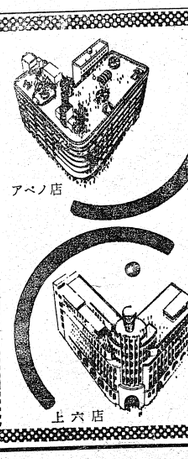
祝　創立四十周年記念

エースバッグ
最高の品質　買い良い値段

¥950.ーより
百貨店・有名小売店にあり

ことぶき
男女通学服全般
三喜制服株式会社
本校グラウンド西南角
TEL(661)ー5640

二時間目の休み時間が
待ち遠しくなり
うどんの恋しい
季節となりました
めん類・ケーキ飲物なら
衛生的で、安くって、うまい
三拍子そろった。
みのわ
校内食堂

お買物は近鉄で！

アベノ店
上六店
アベノ　上六
近鉄
アベノ771-8331
上六771-3331

思い出すまま・あったまま

40年間の足跡をたどる

我校は、大阪府下でも素晴らしい躍進を遂げた学校の一つであろう。過去四十年間、諸先輩の残してくれた足跡をたどり、先にただ発展のみを願って、躍進を続けて行かねばならない。新たに四十年間の歴史を思い起こすことにしよう。

優勝旗がいっぱい

新改築相次ぐ

長い四十年の間には、女学校から男女共学の高等学校になり、その間には戦争もあり、多大な難関を突破し、今日に至っている。これからも他校よりも何においても先に立つよう、新たに四十年間の歴史を思い起こすことにしよう。

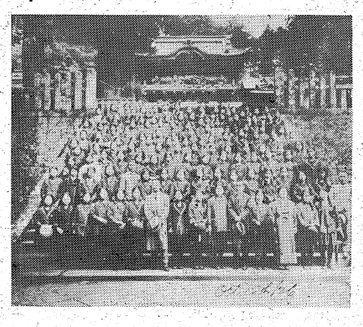
本校は大正十一年三月、府より設立を認可され、同年四月〝大阪府立第十一高等女学校〟と称し、大阪府立泉尾（いづお）高等女学校内に併置された。修業年限五ケ年、定員一〇〇〇名。開校と同時に一八九名の入学生があった。その大先輩の某氏は当時のもようを「最初制服というものがなくて、私達は、着物とはかまでした。はかまのひもに白線が一本入っていまして、それが阿倍高の制服のはじめだったわけです。生徒は純日本風で、家庭的で、勉強をするにも遊ぶにも和気あいあいとしていました。いわゆる良妻賢母型の女性ばかりだったんです。二回生から現在の阿倍高に移りました。昔は三月六日に〝ちきゅう節〟という、皇后様の御誕生の祭日があって、向いの小学校で儀式などを挙行しました。また……。」と語っておられた。そして大正十二年四月。〝大阪府立阿倍野高等学校〟と改称し現在地に移転したのが今から三十九年前の事である。

創立当時の校舎

七泊八日の大旅行

東北方面へ

高校生活に於て、最も印象に残る修学旅行、阿倍高最初の第一回修学旅行は、阿倍野女学校時代の大正十五年で、七泊八日の大旅行であった。コースは、大阪―東京―日光―仙台―松島―会津―直江津―金沢―大阪と関東・東北・北陸地方を回るというデラックスなものであり、また宿舎なども、最高で、自由時間も多くあった。現在の時間的金銭的余裕のない修学旅行と比べれば、まったくうらやましいかぎりである。


日光東照宮前で。制服をごらん下さい

芝蘭会館再建中

昭和二年三月に第一回卒業生を世の中に送り出すと同時に初代五条校長を中心とする同窓会が創られた。この会の目的は、会員相互の親睦や向上を計り、母校との連絡を保ちながら進んで社会のために尽くそうということであった。会名は芝蘭のつどいの故事にちなんで「芝蘭会」と名称された。また総会は、年に二回開き、会の歩み、活動状況を報告する芝蘭会誌が年に一、二回発行され、太平洋戦争勃発まで続いた。昭和三年には、現在プールのある場所に延べ三三〇平方米、二階建の芝蘭会館が完成した。この会館は、女子教育の完成を目ざして、いろいろなけいこ事をするけいこ場として利用されていた。また芝蘭会裁縫専修部を設置し、裁縫、料理、習字、花、茶、謡曲、その他教養学科を習得することを目的としていた。その活躍はめざましいものであった。大体今の短期大学の様で、他校からの修業希望者も多くあった。

焼け落ちる前の芝蘭会館

この様に活動していた芝蘭会の本部として幅広く利用されていた芝蘭会館は、その後一度増築されたしかし、昭和三年三月一日に突如焼け落ちてしまった。以後芝蘭会の総会はデパートの、食堂にて行なわれていた。しかし焼けて以来再建されることが決定され、現在建築中で、来年の三月には落成される。今後この会館は以前にもまして活用されることであろう。また芝蘭会も活発になることであろう。

住高との交流

昭和二十三年四月に大阪府は全国に先がけて男女共学を行なった。本校はそのうちの一校として大阪府立住吉高校と教職員及び男女生徒を交流した。現在本校におられる先生方の中で、松隈、中原、久岡、弥圓、今井、金沢の諸先生方はこの交流の際本校に来られた。少し遅れて昭和二十六年「女子の制服」について高女時代のものが検討された。女生徒の中には制服無用論もでたらしいが、結局現在の制服に落着いた。又現在の校歌もこの頃作られた。高女時代に作られた繊細優美で、本日ここに創立四十周年を迎えることになりました。歴史の流れの中に存在したこの年月は人類の生存にとって大きな波乱と悲劇の時期を含んでおりますがこうした過去の累積を再認識しその意義を考える事によって、新たな創造の世界へ進展することが出来ると存じます。

本校においては歴史的背景の転換期を略なかばとして女学校時代と高等学校時代とに分かれます。大正十一年ゆかりの地、阿倍野ケ原に故五条初代校長が本校を創立し、穏やかなかなかに、歩む正道を我等の理想とし、誠の心をもって一切の事に当ろうという精神を養って、人格の確立に努められました。次いで故学と交流して、男女共学の高校は隆盛し頭角を現わして参りました。その頃戦争に入って、学校は縫工工場となり、戦後は校舎を中学に貸して、住高へ同居させてもらうなど、きびしい歴史の波にゆられながらも住吉中復帰して間もない頃でした。すさんだ中から立上るには自由で自主的な判断をしっかりする生徒を育てられ、高校の在り方を示されました。かくて教育の変動も軌道に乗りかけた昭和二十七年にこちらへ参りましたが、深め、視野を広くして、すこやかな未来を創造されることを念願します。又そうすることの可能であるように図書館、体育館プールと環境を整えて参りました。なお今回は四十周年記念事業として、会館を建設しております。大いに今後の教育に役立つことと存じますが、それについてはPTA、同窓会の多大な御後援によることと感謝致します。今日の発展をきたしましたのは偏に先任の諸先生、職員各位の御努力の賜と思います。この記念日に際し、物故された旧職員同窓生に追悼の意を捧げ心から御冥福を祈ります。かくて今日を過去への回想と、将来への展望、設計の契機と致したいと存します。

すこやかな未来を

学校長　赤間一夫

白井校長は植樹して緑の学園を築いて、情操の豊かさを加えられ、三代目の川井校長は心に齟齬することなく、質実にして高潔な心情を理想として人格を陶冶して来られました。かくして校運は隆盛し頭角を現わして参りました。その頃戦争に入って、学校は縫工工場となり、戦後は校舎を中学に貸して、住高へ同居させてもらうなど、きびしい歴史の波にゆられながらも住吉中復帰して間もない頃でした。すさんだ中から立上るには自由で自主的な判断をしっかりする生徒を育てられ、高校の在り方を示されました。かくて教育の変動も軌道に乗りかけた昭和二十七年にこちらへ参りましたが、深め、視野を広くして、すこやかな未来を創造されることを念願します。又そうすることの可能であるように図書館、体育館プールと環境を整えて参りました。なお今回は四十周年記念事業として、会館を建設しております。大いに今後の教育に役立つことと存じますが、それについてはPTA、同窓会の多大な御後援によることと感謝致します。今日の発展をきたしましたのは偏に先任の諸先生、職員各位の御努力の賜と思います。この記念日に際し、物故された旧職員同窓生に追悼の意を捧げ心から御冥福を祈ります。かくて今日を過去への回想と、将来への展望、設計の契機と致したいと存します。

球技全盛時代

昭和二十五年～三十年

昭和二十八年、現在の第二運動場の買収ならびに体育館の新築により、昭和二十五年から三十年の間の運動クラブの活動は一段と活発になり、各地で行なわれる大会で優秀な成績を獲得してきた。

特に活躍の目ざましかったソフトボール部、男子排球部、卓球部の当時の状態を述べることにしよう。

ソフトボール部

この時代に、阿倍校の運動部と言えば、すぐに「ソフト」と言われるほど、輝かしい伝統をもつクラブであった。昭和二十六年には、国民体育大会に於て優勝、二十九年の全日本高校選手権大会には、全国代表四十二校の大阪代表として出場し、堂々と優勝。それにひき続き北海道で行なわれた、国民体育大会には、準決勝で宿敵広島県の安田学院と対戦、無安打、無得点に完封し、決勝戦では、三島北高と対戦、延長十五回、三時間半の熱戦の結果、大量五点の得点を許し、三島北高の前に屈した。

全日優勝旗を受ける西田さん（1回生）

そして、栄あるスポーツ賞を獲得阿倍校の名を広く世間に知れ渡らせた。

卓球部

輝かしい伝統を持つ本校卓球部は昭和二十五年には、全国大会に、連続二十八、九年の国体と、二十九年の全国大会に出場し、活躍した。又三十年には、国体、近畿大会、全日本選手権大会、都市対抗京阪神大会に参加し、特に三年度は、阿倍野高校運動部のピカ一として大活躍したのであった。

男子排球部

男子排球部の全盛時代の輝かしい成果をあげてみると、昭和二十五年に、大阪市長杯C級の部で優勝、二十七年に国体で優勝、二十九年の大阪府高校バレーボール選手権大会に、府下随一と誇るチームワークと気品の良さでもって優勝。さらに、近畿大会では準決勝まで進出、全日本高校バレーボール大会には準々決勝まで進出、すなわちベスト8突入、三十年には国体出場と、優秀な成績を修め、本校排球部の伝統を更に飛躍的に発展させた。

設備充実期

昭和27年～32年

昭和二十七年から三十二年までの五年間は、設備完成の時代ともいうべきであった。二十七年の図書館建設着工を皮切りに、更衣室並びに倉庫の建造、体育館、食堂を新築。三十一年には、割烹室改修、被服室拡張。三十二年にはプールとこれでほぼ校内の設備は完備された。

図書館

現在ある図書館は、本校創立三十周年記念事業として、新設されたものである。

二十六年当時の図書館は、現在のプールの位置にあった芝蘭会館（女学校当時の同窓会館）内に設置されていたが室内は狭く、校舎から離れている欠点があった。

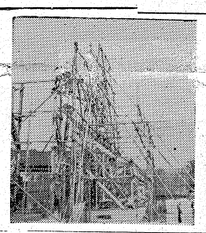
新設されたものは、P・T・Aの寄附が中心となり、総工費一百九十九万九千円の入札により、九月一日より、講堂屋上に工事が開始され、翌二十七年一月に完成、生徒を心配させた図書館の問題も落着いた。なおこの工事と同時に、現在の二年一組、二組の二教室が府費にて建てられた。

体育館

昭和三十八年、道路一つ距ている二八〇〇坪の土地を買収して、運動場として整地すると同時に府費で体育館も設立することになった。二十八年七月に新築起工式が行なわれ、二十九年一月に、完成、落成式が挙行された。

設立されて、今年で約十年になるが、設立当時の体育館の床とは全く変りなく大へん美しい。

昭和三十六年の伊勢湾台風上陸のため、一部の屋根が吹っ飛ばされそのため内部が少いたんだが、他の校舎に比べて、特にきれいなのも、先生の御注意により、体操の時間前に熱心に掃除をしているせいであろう。


体育館着工す

プール

プールがなかった当時の本校は、生徒全員がプールが作られる事を希望してやまなかった。昭和三十二年遂に、父兄並びに諸諸氏、及び諸先生方の深い理解と協力が実を結びP・T・A総会でプール設立が可決され創立三十五周年記念事業の一つとして造られることに決った。六月に地鎮祭、七月に新設竣工式が挙げられた。

プールの長さは縦一二五米、横十三米、深さは一米一〇から一米二〇、総工費三百五十万円に及ぶものである。

〝部〟を〝倍〟

創立以来三十年間「阿部野高女」〝阿部野高校〟で親しまれてきた〝部〟が昭和二十九年に〝倍〟と変更された。

すなわち、昭和十八年四月一日大阪市が二十二区制をとる際、もとの住吉区が阿倍野、住吉、東住吉の三区に分割されて、はじめて阿倍野の区名を名乗った。しかしこの阿倍野の文字については阿部野について論議を生じた。

このため事務上に混乱が起り、賛否両論があったが「阿倍野高校」となったのである。

用いられており、万葉集又は古今集などの古文書によれば「倍」が用いられ、室町期には「部」を、更に平安末期に建立された同区内の阿倍王子神社は「倍」の字を用いている。又同区役所の土地台帳戸籍原簿などは何れも「倍」を使用、別格官幣社「阿部野神社」は初め府関係や学校警察は「部」を用いている。このようにいろいろに用いられているが市の慣用及び町名には阿倍野とすることになった。

若人の意気と正義をしるして

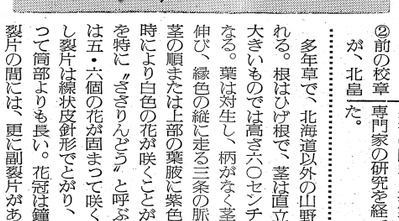
我阿倍野高校の一つの表示形式として用いられる校章は、創立より二つある。すなわち、一つは創立から昭和二十三年住吉中学（今の住吉高校）と交流した時までのものと、もう一つはそれ以後現在用いられているものである。前者は、本校の学神である北畠顕家氏（南北時代の人で、阿倍野神社に祭られている）の紋の〝ぎきりんどう〟が形どられていて、台色は水色である。また後者のは、前の校章さきりんどうの上に〝高〟（高校の意味）を入れ、若人の意気と正義を印して聖火で囲んだものである。大きさは女学校の頃の方がいくぶん大きい。図案改正の主な理由は

①共学になったのに、いつまでも女学校時代の校章を使用するのは変である。

②前の校章は、北畠氏の紋そのままである。

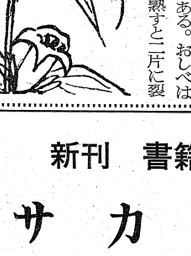
なぜがあげられる。

なお今の校章の作成にあたっては生徒の間から募集した図案並びに専門家の研究を経て出き上がったが、北畠氏の紋そのままである。



五本、めしべは一本、果実はさく果となり、細長く熟すと二片に裂け、下に残存がくと花冠をつけている。種子は微少な広皮針形で翼がある。根はゲンチアナ根の代用として薬用になる。

なお、りんどうの名は竜胆（りんどう）に由来する。



「一つ釜の飯」を

同窓会長　高村千代子

大阪府立阿倍野高等学校創立四十周年。国の大変革を乗り越え、幾多の困難に耐え、校地の拡張、体育館、図書館、プールの建設等と矢継ぎ早に躍進を続ける母校を心から祝福いたしますと同時に、この機会に創立の当初を想起してみたいと思います。

第一次欧州大戦後の国家の隆盛に従い、女子教育の発展に伴って大正十一年三月、大阪府立第十一高等女学校として誕生しました。創立の当初は、同時に創設された第十二高女（現勝山高校）と共に大正区の泉尾高女に三校同居で一流になりまして、どこもが行った年間を過しました。二百人に足りない居候小集団が並んで毎朝他人の学校の片隅で朝礼をする様子を想像してみて下さい。当時の教頭先生は特に背の高い方で、いつも前かがみの姿勢で私達に訓示されました。おかげで当時は何事についてもいつもなごやかな家庭的な雰囲気で満ち満ちていました。服装は着物に紺のはかま。紺に白線が一筋入っていて、履物は靴という大正風俗。翌十二年現在の校舎に移りました。

見渡す限りの阿倍野ケ原で三階建ではあったがそそり立って見えた白亜の校舎。当時としては鉄筋三階建は学校建築のトップモードでした。そこでは紫紺に霞む生駒葛城の連峯もはっきり、実にはっきり見ました。空気がきれいでしたからね。二回生を迎えて完成され、北畠顕家公に縁をつけて、その家紋にちなんで笹りんどうの校章ができ、質素で清純な日本風のしつけが重点でありました。以来歴代立派な校長先生を戴き、いつのまにか阿倍野は名門と定評されるようになりました。

戦後は御承知の通り住高との交流が行なわれ、PTA、同窓会、学校が協力一体となって、会館の再建が計画されました。待望の会館が威容を現わす日も間近いことでしょう。会館は同一感情を持つ同窓生の融和の場であり、仲間意識の拠り所でもあります。この意味で、会館の再現は点の上ない喜びです。

四十年経って、ますます壮年期に入った阿倍野高校の弥栄えることを祈ってやみません。

高村千代子氏

賞すなかれ 罰すなかれ

PTA会長　平野晋造

創立四十周年お目出とうございます。この栄ある年に会長を御引受けしたことを大変嬉しく思います。四十年の学校歴史を顧みて関係交書を参考にしたり先輩諸姉兄の記憶を呼び起したりして、経年的に感想文を記した所で無味乾燥であると考えましたので常々希望して居る事を述べてみたいと思います。

民主主義の世とはいえ、すべてを我が子であると考え取扱うならばどうして二、三の者を賞し罰することができるでしょうか。

さらに一段と理想の学園へ飛躍するに際し一言述べます。

これは皆さん方は常に家庭においては自覚を第一義として人間向上をたたるよう心がけ、先生方は一人を賞して万人を奨励し一人を罰して万人を懲戒するという一般社会を律する政治のようなことをせずむしろ賞せず罰せずして「不厳而整」の校風おもむろに興る道へ私共P・T・Aと共々に激励していただきたいことであります。

新刊　書籍　雑誌　学生参考書
サカグチ書店
上町線北畠駅前 (661) 3230

学生帽子の専門店
山内帽子店
地下鉄昭和町駅西へ約一丁北側　TEL(651) 2037

新型カメラと 8 m/m シネ及感光材料
修学旅行・学校・免許・証明写真・特急撮影
三光写真店
地下鉄昭和町駅南出口西一丁　【阿倍野区役所南側】TEL(651)3160

男女学生制服の御用命は
本校御指定の当店に
シヤモト
市電上九電停東入ル一ツ目辻西北角
電話 (771) 二三六〇番
北村被服株式会社

甘党の店
ふじや
お好み焼・焼そば・特製あんみつ
阿倍野区阪南町西一丁目
ココ
本校グランド

参考書
問題集
新刊図書
自習書
その他
あらゆる書籍
おおさきや
地下鉄昭和町前
田辺街道北東角
TEL (651) 四三七八

新聞部アンケート　阿倍高かたぎ

たかい政治への関心
焦点はキューバに集まる

十月三十日（火）に今年度最初の新聞部アンケートをして、阿倍高の近況をのぞいてみた。六〇〇人を対象とし、多数の項目についてアンケートを取った。けれども本号には、音楽の興味、宗教・政治への関心、支持政党、一般新聞について、特に記載してみた。尚、今回のアンケートの回収率は二年男子を除いては全般に良く、九割近かくの回収率を得た。

伝統に誇りを持つ

阿倍高生として誇りを持っているか。
持っている　73%
持っていない　27%

誇りを持っていないものが割合多く、中でも一年生男子にそれが見られる。持っているものの理由として府立高校で伝統があるというのが最も多い。持たないものの理由は、風紀の乱れが多く上げられている。

音楽は何に興味を持つか。
クラシック　31%
ポピュラー　44%
歌謡曲　13%
民謡　9%
その他　3%

グラフを見てもわかるように、ポピュラー、クラシック愛好者が圧倒的に多い。クラシック愛好者が三分の一もいることが注目される。

ツイスト、チャールストンなどを踊りたいか。
踊りたい　27%
踊りたくない　73%

それらは高校生としてしてよいか。
良い　20%
悪い　60%

ツイストやチャールストンを高校生として、して良いが踊りたくはないという意見のものもあった。その理由は「ばからしい」からだそうだ。

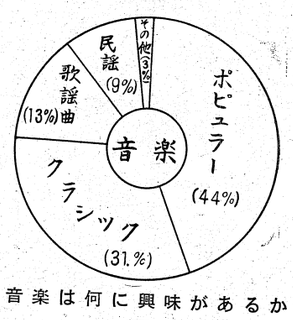
宗教関心あり信仰せず

宗教に関心を持っているか。
持っている　28%
持っていない　72%

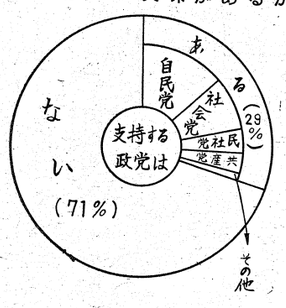
宗教を信仰しているか。
信仰している　15%
信仰していない　85%

宗教を信仰しているものは関心を持っている割には少ない。信仰している宗教は、キリスト教・仏教・天理教・等種々さまざまである。信仰によって自分の生きるべき真の道を得たという者もいる。信仰しない者の大半は神、仏の存在を認めていないようである。

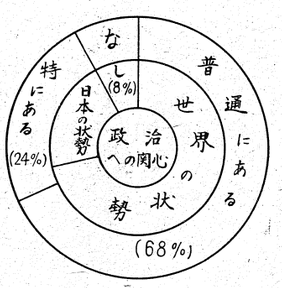
多いクラシック愛好者



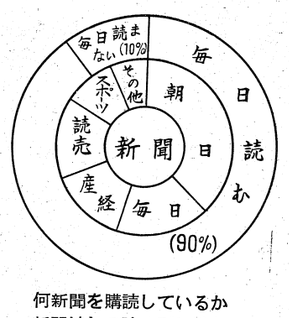
音楽は何に興味があるか



支持する政党があるか
支持する政党は



日本と世界のどちらに関心があるか
現在の政治状態に関心があるか



何新聞を購読しているか
新聞は毎日読んでいるか

社会面	政治	スポーツ	娯楽	番組	その他
(33%)	(20%)	(17%)	(11%)	(10%)	(9%)

最初にどんな記事を読んでいるか

キューバ問題	米ソ問題			その他
(61%)	(14%)			(14%)

中・印の国境問題（6%）　貿易自由化（5%）

現在どんな記事に興味があるか

新聞を毎日読んでいるか。
読んでいる　90%
読んでいない　10%

何新聞を購読しているか。
朝日新聞　37%
毎日新聞　19%
産業経済新聞　15%
読売新聞　14%
スポーツ新聞　9%
その他　6%

最初にどんな記事を読んでいるか。
社会面　33%
政治面　20%
スポーツ面　17%
娯楽面　11%
番組　10%
その他　9%

最近の一般新聞は事実を正確に伝えていると思うか。
思う　78%
思わない　22%

新聞はほとんどが毎日読んでいるようである。新聞の人気は朝日が毎回のアンケートと同様一番人気がある。配事はやはり社会関係が多く政治への関心が大になってきている証拠であろう。新聞が事実を伝えていないというものが22%もあるが、その理由として、二、三流新聞に特に多い、真実に反する大げさな扱い方、新聞社間の見解の相違等が挙げられている。

現在の政治状態に関心があるか。
特にある　25%
普通にある　68%
ない　7%

日本と世界のどちらに関心があるか。
日本　22%
世界　78%

阿倍高生の政治への関心は非常に高く、日本より世界の動きを注目するものが多い。中でも現在起っているキューバ問題に関心が高まっているものも多数いる。米・ソ問題に関心を持っているものも少なくはない。（政治への関心を阿倍高自治会へものそかせたなら自治会活動も活発になるだろう）

支持する政党があるか。
ある　71%
ない　29%

支持する政党は。
自民党　45%
社会党　27%
民社党　13%
共産党　7%
創価学会（無所属）　5%
その他　3%

政治への関心が自然に政党支持にもつながるが、支持政党がないものが非常に多いという現象が現れている。前回にない現象が創価学会支持者がわずかながらいる。

現在の日本の政治に満足しているか。
満足　20%
不満足　80%

現在の政治に不満足なものが大へん多く、その理由として、物価の値上りがいわれているが、他にも内閣々僚への不満。政治家の言動の不一致など多くが上げられている。

練習につながる
甲子園出場の道

小林秀一さん
阿倍野区天王寺町北3の55の1
（十四期生）

◇阿倍高スポーツ史の快事をあげれば、数えきれない程あるがその内でも、ソフト、男子バレー、卓球、軟庭、野球等の活躍が目立っている。そこで、甲子園出場の野球の小林秀一さん（14期生）のお宅へお訪ねして、当時の感想などをお聞きした。
小林さんは、主将であり、3番を打ち、安田投手とバッテリーを組んで捕手をしておられ、チームの主軸であった。そして甲子園出場をなしとげたのである。現在、関西学院の野球部で一年生からレギラーとして活躍しておられる。
尚、ソフトの重成里子さん（6期生）、卓球の佐古忠司さん（8期生）もインタビューする予定でしたが、都合により出来なかったことをおわびします。

問　まず月並不躾問ですが甲子園出場の時の感想は。
答　すぐにはピンときませんでしたが、時がたつにつれて、うれしさ、感激がいっそう深くなっていきました。
問　入場行進の時はあがりましたか。
答　他の者はあがってしまって足が地につかなかったとか言っていましたが、僕はネット裏で手を振っている友達の顔がはっきり見えた位ですから、殆んどあがっていませんでした。
問　当時主将をしておられどんなところに気を配られましたか。
答　中学時代主将をやっていた者がアドバイスをしてくれたので助かりました。

スポーツで養われる忍耐力

問　甲子園に出られるということは予想されていましたか。
答　それが全然なんですね。まあ運が良かったといいますかね調子に乗ったというのか。
四国遠征があって高松商と徳島商等の有名高に勝ち、少し自信ができ、これなら行けるんじゃないか、と昼夢中でやっている内にいつの間にか勝ってきていたといった調子でした。しかし運が良いというだけでなく、部員も一生懸命練習をやりましたからね。
問　現在大学でも野球部で御活躍ですが、高校時代どくらべてどうですか。
答　練習量なんて問題になりませんネ。一年の時など二時間位しか授業を受けられないんですグランドの掃除とか、準備とかでね。それで初めなどは親しい友達もいないし、ノートを借りるのに苦労しましたが、二年になってからは掃除もしなくてよいから楽になりましたが……。
問　それでは試験の前などは本当に困りますね。どうしていらっしゃるのですか。
答　だから試験の前になると、徹夜もじせないということで一生懸命やるんですヨ。だけど徹夜が続いてもそんなに体にはこたえないんです。これなんかもやはり運動部に入って、知らず知らずに養われている忍耐力からくるんじゃないかと思います。
こういう面においても、僕は現在の高校生に、野球に限らず何でもいいから、もっと運動をすることを勧めます。本当に運動することは良いことだと思います。
問　勉強とクラブの両立はどうですか。
答　僕はできると思いますね。
問　現在の阿倍高生を見てどう思われますか。
答　阿倍高生を見ていると、実になつかしい感じがして、つい話しかけたくなりますネ。
問　これからの方針は。
答　できたらノンプロの選手でもやりたいと思っています。
問　プロ野球はどうですか。
答　いや、自信ありません。

甲子園で

さびしく感じることは、僕の学校においてもそうですが、阿倍高の先輩、後輩が非常に少ないということですね。もっとどんどん続いて入ってきてほしいと思います。
問　現在の野球部に望まれることは。
答　近頃は割合良い成績を修めているようだが、いい意味でも〝根性〟というものをもっと持ってほしいと思います。

阿倍野ケ原をたずねる
郷土今は昔

上町台地の南に発展

本校の所在地である阿倍野区には有名な歴史、伝説や名所旧跡また本校と密接な関係のある場所がたくさんあるが「燈台もと暗し」と言われているようにほとんど気付かず何気なしに見たり聞いたりしている場合が多い。そこで四十周年を迎えるに当って我々新聞部員は、夏休みを利用して連日炎天下をカメラと共にたずねてみた。

本校の所在地である阿倍野区は、上町台地にある。上町台地とは、北は難波江（なにわえ）の津より南は墨の江の津まで、即ち大阪城より住吉神社に至り、東側は堺市三国ケ丘方面から住吉我孫子を経て、勝山に至る台地、即ち我孫子台地とのくぼみに出来た長泡、桃ケ池までで傾斜はゆるやかであるが急であることも、この坂等でわかるとおりである。当区は概ねこの上町台地に展開されているが、この台地は、海抜二千メートル、幅約二千メートルの帯状をなし、天王寺以北がやや高く、阿倍野区以西では少し低くなっている。また当区の地名にいろいろの由来が語り伝えられるものが多いがその例を少し上げると、上町台地の西側は松が植えられていた。それを岸の姫松といい、そこから現在の姫松という地名が生まれ、また松は昔松虫と鈴虫という二人の人物がいてその二人の伝説によりこの地名が生まれたのである。

南北朝時代
北畠公ゆかりの地

難波の地は、仁徳天皇以来しばしば皇都として、あるいは港津として非常に栄えた。そして延暦四年正月淀川の水が三国川（いまの神崎川）にひかれた。これによって瀬戸内海から来る船舶は難波津を経由しないで、神崎、加島、江口より淀川をさかのぼったので、これが大和交通の衰退と共に難波の地の立地条件をかえ、だんだんと衰えるきっかけとなった。しかしまた他の一面においては、中世の宗教的情操の高揚が信仰の都としての難波を繁栄させた。すなわち四天王寺、住吉、または遠く高野及び熊野へ参詣するものは平安中期より鎌倉時代にかけてますます多くなり、貴族も庶民も相ついで往来した。当時熊野参詣については京都の永観堂の蔵王寺から熊野までの間に九十九の王子社が設けられていて旅行者は船で淀川を下って渡辺の津に着いて、まず第一王子（渡辺王子、久保津王子）に参詣した。次に坂口王子がありそれから庄陵にて那戸王子を経て、上野王子から阿倍野街道に出て阿倍王子、住吉王子、堺王子と並んでいた。しかし、時代が進むと共に阿倍野の歴史には埋んだ戦史のみが残り遂に全く荒れはてることとなった。まず平家物語に「悪源太、安部野に待つ」という有名な記事があるがこの時は幸いなことに当区の地が荒らされたのではなかった。その後鎌倉時代に入っても、住吉神社は武神として武士の信仰も厚く武士の参詣も多かった。そして後醍醐天皇の建武の中興、つづいて南北朝対立の時代にかけて阿倍野、住吉の地はにわかにさわがしくなった。

元中九年後亀山天皇御位を北朝の後小松天皇に譲られて、いわゆる南北の統合が成ったが、この間に戦乱のため当区一帯荒れはてしまった。その上足利時代に入って文明九年（一四七七年）より数年間畠山、細川両氏がしばしば大王寺、堺等で戦かったのをはじめ、いわゆる「下剋上」の時代となって、武士達の離合集散がはげしくて、常に戦いは堺、住吉、天王寺上町に展開されて、上町台地は全く「虎狼のスミカ」と言ってもいいほどのさびしい田舎になった。しかしこの時代で注意すべきことは堺の発達で、文明八年以来遣明船の貿易港として利用されて、やがて商人は巨万の富をあつめて京都への交通路である阿倍野街道の往来は賑わった。

阿倍王子神社

この神社は、現在阿倍野筋八丁目一番地にある。神社創始の年代ははっきりしないが、霊験記はじめ古史にも記録が残っている。昔は阿部王子神社と呼ばれ、王子権現または、熊野第二王子とも呼ばれ維新後村社に列せられた。

平安時代から鎌倉時代にかけて、熊野詣が盛んになったのでその通行道である熊野街道は、非常に発達した。そして京都から熊野本営に至る九十九王子社の第二王子社として熊野御参詣の行幸毎にここで、幣はぐを捧げられた。

維新後大神社と名が変わり、明治四十年男山八幡神社を合祀して大江八幡神社と改められたが、四十四年九月十八日現社号阿倍王子神社にもどった。

戦時中本校の作法室に
阿部野神社

この神社は、現在北畠西一丁目一〇七番地にある。もと社格別格官幣社で北畠顕家公並びに親房公を祭神としている。親房公は、村上天皇の皇子具平親王の子孫で伏見天皇より五朝に仕え、殊に後醍醐天皇の信任厚く、吉野朝廷第一の柱石で正平九年九月十五日、年六十二才で大和国賀名生でなくなった。また顕家公は親房の長子で元弘三年陸奥守兼鎮守府大将軍となり、一時祭られていた。本校の校章が日本女性の美徳、謙譲、純真、優雅の象徴として阿部野神社の社紋である笹竜胆を配していること、また学神として阿部野神社の祭神建武の中興の忠臣、北畠親房、顕家公父子を祭祀していることから本校とは切っても切れない関係にある。

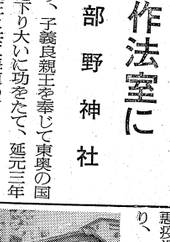
（写真）阿部野神社前景

原稿募集中

新聞部では読まれる新聞を作るため、阿倍高生の新目を深めるため、出来る限り読者に紙面を提供しておりますのでどしどし投稿下さい。小説・詩・短歌・アイロニー・随筆・文芸欄カット・意見・その他。特に次号では修学旅行に関する記事を二年生に募集。
締切三十七年十二月一日　新聞部

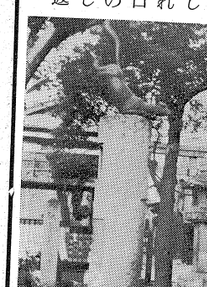
吉田兼好
隠棲の地・丸山

丸山は「つれづれなるままに日ぐらしすずりにむかひて心にうつりゆくよしなしごとを…」に始まる徒然草の作者、室町時代初期の歌人、中世後期における典型的な随筆文学の著者である吉田兼好の隠棲の地として有名である。京都吉田神社の神職である父、卜部兼顕の三男、部兼好として生まれ和歌をよくして後宇多天皇に仕えたが、天皇崩御の後、南北朝の戦乱を避けて、仏教や老荘思想の影響をうけ、出家しながらが岡に草庵を結びのちまた遁れてこの地丸山に移ったと伝えられている。丸山は兼好の家僕命婦丸の郷地といわれ、兼好は清貧自適、僅に筆を縄につくい蓬屋を織って生計を営み、その間徒然草を草したと言われる。晩年は伊賀の国、国見山におもむいたといわれるが、最後は京都の吉田か伊賀かは定説がない。丸山は丸山古墳の遺跡であるが大正十二年に発掘され、付近は風景を全く変えたが今は丸山通りに「吉田兼好法師隠棲庵址」の碑がある。



弘法大師自らの作
印山寺の仏像

寺伝によると、淳和天皇の天長三年弘法大師空海が天皇の命により悪疫退散を祈願し、薬師如来を祀り、一千部薬師経を読誦し、特に権現に祈ったところ、悪疫の流行がやんだところから、淳和天皇より痾免寺の勅号を下賜せられた。享保九年万源和尚が大いに復興に努め、倶胝山印山寺と改称し、永平寺末に属することとなり、二十一代を経て現在に至っていると言うことだ。印山寺と言へば、大きな立派なお寺と想像されるかもしれないが、実際は正反対なのである。ここでそのお寺の様子を少し紹介すると、阿倍王子神社の横手に古ぼけた今にも崩れそうな塀がある。表門は押してみたが開かないので裏門より入る。するとそこにある物は二、三軒の平屋建てと原っぱで、驚いたことには、仏殿も何もない。何処に祭ってあるのかなあと奥へ進んでいくと縫い物をしていたお婆さんをみつけたのでたずねてみた。「この隣の部屋ですよ。」と言う返事なので中をのぞくと座敷の一番奥に大変きれいに祭ってある。他に比べてこれだけがあまりにもきれいなのでびっくりしてしまった。この仏像は弘法大師自ら作られたものであるこめて礼拝されて作られたものだそうだ。作られてから約千年になり、某新聞社の調査によると日本最古の仏像（?）だそうである。



晴明は保名よりこの話を聞いて急いで戻ってみたが。もうくずの葉の姿はなく、

恋しくば　訪ねきてみよ泉なる　しのだの森の　恨みくずの葉

という屏風に書かれた歌がまだ鳳が乾ききらずに残っていた。
その後、晴明、くずの葉、保名はどうなったのかわからない。

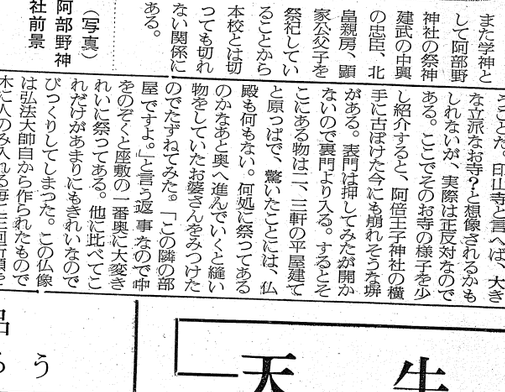
伝説・逸話にも名高い
安倍晴明神社

この神社は、現在阿倍野筋七丁目七四番地にある。創始年代もこれまた明きらかでないが、治承年間（約七百七十年前）すでに神祠があったことが旧記に記されている。この阿倍野地区との縁は大変深い。区下の晴明通り、保名窓も、晴明並びに晴明の子保名にちなんだ名である。また、阿倍野原一帯が昔〝保名〟と呼ばれていた事からもわかるであろう。

それらを実証すべき伝説、逸話は数多く残されているが、それらの中の一つをここに紹介しよう。

昔、ある所に阿倍晴明という人が住んでいた。ある日晴明は、傷ついた一匹の狐を助けた。それから数日後、晴明は山へ狩に行き、足をすべらせ、崖から落ちて気を失ってしまった。ふと気がつくと、また明きらかでないが、治承年間晴明はふとんに寝かされ、美しい女の人の手厚い看護を受けていた。その人は、誰あろう先日晴明が助けた狐の化身だった。その日から二人は仲むつまじく暮し、間もなく玉のような男の子〝保名〟が生まれた。そして数年……。

保名もすくすくと育ち、もう棒きれを片手にあばれまわるぐらいになっていた。小さな村には、いつか秋が忍び寄っていて、木の葉が黄色に赤色に色づいていた。晴明はいつものように畑に出かけ、保名は裏山へ遊びに行った。小一時間をたっただろうか、コットン・バッタン・コットン・バッタン、母が織る織機の音が聞こえた。声をかけようと土間から座敷へ上がりかけて、障子に目をやった瞬間、保名は「あっ！」と声をのんだ。障子に写っているはずの母の影が狐の影に変わっていたのだ。次の瞬間保名は驚きと悲しみと恐しさで泣きながら、畑にいる父のもとへ駆け出した。一方母のくずの葉はふとした気のゆるみから自分の正体を見られてしまって、しばらくは泣きくずれていたが、やがて口に筆をくわえて側の屏風に何か書き残し、振り返り振り返り家を出ていった。



文房具・事務用品・紙製品
なんでもそろう
大谷文具店
（阿倍野高校グランド前）
TEL (651) 8465

天牛本店
古本全般売買（特に参考書歓迎！）
道頓堀中座前　TEL (211) 2758

大名刺　7.—　大手札　14.—　キャビネ　30.—
大和カメラ商会
（阿倍野警察前）
TEL (651) 6464

万年筆の修理は技術の
谷野万年筆へ
毎週火曜日・金曜日
・校内出張致しております・

'63　スキー用品簾価奉仕
ニューデザイン・高性能のカザマスキー
東京トップ・日研ホープ印のスキー金具とストック
シナノの合竹ストック
スキーの御用はぜひ当店で！
大阪スポーツ
アベノ筋6丁目、松虫駅東国道　TEL (661) 4351

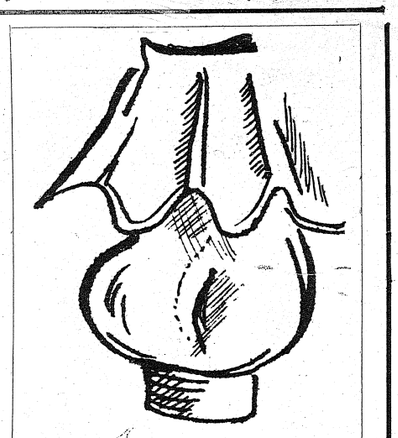
平凡な中に猛烈さが

暗夜行路　志賀直哉著

二年　船本裕二

この小説は志賀直哉最高の傑作とうたわれる長編小説である。なにしろ長く単々とした調子で進んでいくので途中であきられるかもしれない。ではその内容を説明しておこう。先づ主人公なる人物「時任謙作」は私生児であるという事を全然しらない。成人し現在父親から兄弟に財産をゆずってもらい自分は独立して小説を書き、兄は会社勤めをしている。彼の家には下女というよりもむしろ家族同様という人物お栄がいて、何くれとなく謙作の世話をしている。それから友人達。だいたい以上の様な人物の設定から物語が始まっている。

謙作は遊侠に通いそして今自分が何を求めているかという事を知り苦悩しそれを清算する為に家を離れ気が落ち着くまで帰京しないで尾の道に向かう。しかしそれは仕事が順調にいってる時だけでうまくいかなくなるに従って生活の単調さが彼を苦しめた。彼の毎日は同じような単調さであり、それが苦脳に結びつき孤独になり東京という所の想い出をいっそう浮び上がらせ、お栄という人物を、自分に結びつけ結婚という形をとって自分を安定させようとした。そしてこの旨を兄に伝えて、お栄に話してもらうようにしたがお栄は承知しなかった。この事より彼が私生児であるという事を兄から知らされ非常な打撃を受け、自分を見失なってしまうが、いよいよ「俺はひとりだ」という考えから立ち直ろうとする、仕事も出来ない内に彼は帰京し兄に会い結婚の事が母から父に伝わり父が激怒しお栄を解雇しようとしている等の事情を聞く。しかし謙作は結婚は出来なくとも今の関係を続けたいと思った。その後兄は会社をやめ禅の道に入る。謙作は前の生活に失敗し、どこか別の所に住み再生しようとし京都に行き家を捜し始める。そこで一人の美しい女に心を引かれる。兄からは、お栄は彼女の従姉であるおすずという人物に誘われ一緒に朝鮮に渡り商売をしたいらしい事を手紙で言って来た。これには不賛成だったが、彼女の希望なので仕方がないと諦められる。家も決まってくるといよいよ前の美しい女、直子に心を魅かれるようになった。兄に伝えると何とかしようとして友人等に当たってくれて、結婚に簡単に結びつき、彼は自分の幸福な事を喜ぶ。謙作夫婦は毎日平和に楽しく過ごした。子供も生れた。しかし謙作は子供にはさほどの愛情がわかなかった。赤児をみるのは単に好奇心からであってこれが自分の肉身の子とは思われなかった。だが、この赤児も運命なのであろうか病気にかかり、発病後一月後に死という道に向かった。この赤児の死によって一番打撃を受けたのは、直子であった。そのころ朝鮮に行っているお栄から商売がうまくいかず、盗人にも逢い、無一文になった。なんとかしてくれと頼んで来た。謙作は朝鮮に行きお栄を連れ戻して来た。直子は別に彼女の訪れに対して嫌がりもせず逆に愛想よく迎えるのであった。謙作夫婦とお栄との間は、何のわだかまりもなく平和に過ぎた。しかし夫婦としては一面病的に憂き合うものが出来たと同時に、そこにはどうしてもしすぎたかもしれない。だからアンネ・フランクという少女よりもむしろユダヤ人に同情し、戦争は成長配録は私のそれとよく似ている。アンネの気持にさせられました。アンネの思はそれをアンネのように素直に書き表わせないのが残念です。読んでいくうちに私自身、頬が熱くなってくるのを身に感じながら、それでも私の心の中を感じる事ができる様になりました。前にはなんにもわからずに読みすごしていたいろいろな箇所がまるで初めてこの本を開くような気持にさせられました。アンネの時は自由になり、思う存分深呼吸し、あの広大な青空の果てまで飛んで行ってしまいたいような気持になるのに、小さな部屋で二年近く、外に出る事もなく過ごしたアンネはどんなに自由と新鮮な空気が恋しかったでしょう〝自由〟っていものだなあと今更ながら再確認しました。さてここで私はこの日記の中に密かに記してある、ユダヤ人の悲劇に同情した事を再び書かねばなりません黄色の星のマークをつけたユダヤ人は電車に乗ることもできなければ買物にも行けない。今、こうして私が書いている時、夕陽に映える空をながめながら、苦しかった昔を思い出しているユダヤの人々が世界にどれだけいることでしょう。でも私はユダヤ人のもっとも大きな苦しみを具体的に教ええる〝夜と霧〟を読んでいたので、どうしてもアンネのかわいそうな一生に同情する事が出来ませんでした。アンネ達だけがかくれて平穏な日を送るなんて…。と思ったのです。しかし、私のような考え方は当時のアンネ達には判断できかねたでしょう。もしアンネが私だったとしても私は自分の考えを実行し移す事はできなかったでしょう。しかしどんなことがあっても人間は平等でなければならないと強く思いました。ドイツのみじめな収容所でなくなったアンネを思って、アンネのようにいつも勇気と忍耐力を示すことのできる人間、私もこういう人間になれる方法を考えながら、表わすようになった神経はたかぶりこの気持を押えようとして、妻と相談した結果少しの間家を離れ気持が落ち着くまで、どこかの山に登ろうと決めそれを大山に決めた。いよいよ出発の日になると、直子とお栄は、色々気をつかってくれ彼自身も、出家する位の気持で家を出て大山に向かった。大山での謙作の生活は寺に下宿し、色んな所に出歩きその生活を楽しんだ。謙作は山へ登りたくなり、ある一行と夜中に登ろうとしたが睡眠不足で疲労のため一行からはずれ、暗方近くの美しい景色に陶酔感を覚え眠りに似た快感に酔ってしまった。しかしこれが謙作の命取りになった。京都からは直子が呼ばれた。しかし直子は謙作が助かるにしろ助からぬしろ此の人について行こうとこの時はっきりと決心するのである。この本を読めば〝クライマックスと思わせるような所が出て来ない。このように志賀直哉の作品は一見平凡に見える。しかしそこにはなにか猛烈に魅きつける物をもっている。それが何だか未熟な私にはわからない。その他色々の場所が出て来る私は京都の現わし方に非常な魅力を感じる。私達の日頃考えている観光京都でなく暗夜行路京都そのままを。



カット　前田夏代

燈火親しむ候となり、読書には最適の季節となった。そこで三人の人に今まで読んだ本の中で、最も感激した本の内容、および感想を書いていただいた。

阿倍高の現状を大いに語る

遅刻者に罰則を

新聞部では、去る十月二十七日（土）放課後、三年生男子一名、二年生男子一名、女子四名、一年女子一名を新聞部ボックスに迎えて〝阿倍高の未来〟をテーマにして座談会を行った。しかしテーマからすっかり離れて、現在の問題についての意見が活発にでた。次にあげるのは座談会のようである。

司会　新聞部

司会　ここに本校も四十周年を迎えましたが、まだ阿倍高には、殿備、その他色々変ってほしいと、改良したいことが多いですが学校側に対しての希望、そして今後阿倍高に望むこと等色々とかたっていただきたいと思います。

E　未来とか希望というよりも現実を直していくことによって未来の阿倍高がよくなっていくのではないでしょうか。

全員　同感。

司会　では皆さんが、現在阿倍高についてどういう不満を持っておられますか。

A　遅刻が余りにも多いですネ

B　それに遅刻した者は少しも反省する様子が見えません。

C　もう高校生ですからネ。生徒の自覚にまかさないと仕方ないと思います。

F　遅刻者に対して、何らかの形で徴罰を与えるべきだと思います。

G　廊下等うろうろ歩きまわるなおりません。なにか罰がないと直らないなんて本当に悲しい事です。

全員　同感。

司会　遅刻のことはこの位にして次の問題に移りたいと思いますこの学校は自習時間が多いようですがそれについてどう考えておられますか。

B　なぜこんなに自習時間が多いのですかネ。先生の問題だと思います。

A　でも試験が近づいてこまるのは生徒の方ですから。範囲はいつもと変らないで、少ない授業にそれだけやるのですからネ。

司会　では生徒の自習時間の態度についてどう思っておられますか。

E　女子の服装についてはいうことなし。（笑）

B　男子の替ズボンが少なくなってよくなったと思いますが、しかしネ、ズボンの巾が細すぎるのではないでしょうか。

F　目立ちたいという気持はよくわかりますが、女子から見れば逆効果だと思います。

D　帽子をかぶってほしいですネ。絶対にかぶるべきです。

E　女子のカットですが、僕は女性に興味を持っていますが、（笑）男性としてカットの方が魅力的ですヨ。（爆笑）

A　しかし禁止されても少しもなおっていません。それも、皆が悪いとは思っていないからだと思います。

B　阿倍高生として責任を持ちまた自覚があれば、度がすぎることもないと思います。

D　女子より男子の方をもっと取りしまるべきだと思います。男子は、今なんにも言われていない状態でしょう。

C　女子はいいが、男子は悪いと言われますが、同じ阿倍高生なのにそういうことを言われたくないですからネ。

G　男子も特定の者だけで、そういう人のため言われるのですから、阿倍高のことを考えてやめてもらいたいと思います。

司会　カットの問題が出ましたが、同じ女子の問題としてベルトはどういう考えをお持ちですか。

A　ベルトはしない方が制服に合っています。

B　なくても調節できるのですから。

司会　では最後に、現在の阿倍高に望むことを。

E　自治会が中心となって、一つ一つ解決していくことです。

F　そして、先生方も生徒と共についてきてほしいですネ。

司会　今日はどうもありがとうございました。テーマから大分それましたが、良い参考意見となると思います。

◇　◇　◇

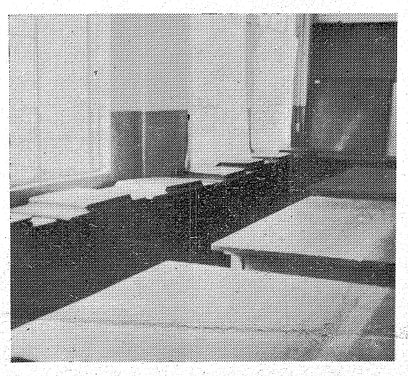
勇気と思索の糧に

―アンネの日記

アンネ・フランク著

一年　K　子

私は再び、今この本を手にしています。三年程前の私には、精神的にも肉体的にも過渡期にある感受性の強い少女の心の表現がむずかしすぎたかもしれない。だからアンネ・フランクという少女よりもむしろユダヤ人に同情し、戦争は成長配録は私のそれとよく似ている。アンネの気持にさせられました。アンネの思はそれをアンネのように素直に書き表わせないのが残念です。読んでいくうちに私自身、頬が熱くなってくるのを身に感じながら、それでも私の心の中を感じる事ができる様になりました。前にはなんにもわからずに読みすごしていたいろいろな箇所がまるで初めてこの本を開くような気持にさせられました。アンネの時は自由になり、思う存分深呼吸し、あの広大な青空の果てまで飛んで行ってしまいたいような気持になるのに、小さな部屋で二年近く、外に出る事もなく過ごしたアンネはどんなに自由と新鮮な空気が恋しかったでしょう〝自由〟っていものだなあと今更ながら再確認しました。さてここで私はこの日記の中に密かに記してある、ユダヤ人の悲劇に同情した事を再び書かねばなりません黄色の星のマークをつけたユダヤ人は電車に乗ることもできなければ買物にも行けない。今、こうして私が書いている時、夕陽に映える空をながめながら、苦しかった昔を思い出しているユダヤの人々が世界にどれだけいることでしょう。でも私はユダヤ人のもっとも大きな苦しみを具体的に教ええる〝夜と霧〟を読んでいたので、どうしてもアンネのかわいそうな一生に同情する事が出来ませんでした。アンネ達だけがかくれて平穏な日を送るなんて…。と思ったのです。しかし、私のような考え方は当時のアンネ達には判断できかねたでしょう。もしアンネが私だったとしても私は自分の考えを実行し移す事はできなかったでしょう。しかしどんなことがあっても人間は平等でなければならないと強く思いました。ドイツのみじめな収容所でなくなったアンネを思って、アンネのようにいつも勇気と忍耐力を示すことのできる人間、私もこういう人間になれる方法を考えながら、



大正年間に講入されたミシンを今も使用

静かに本を閉じました。勇気と思索の糧として、私達の年令に一番あっている本ではないかと思います。

文芸春秋発行　一九〇円

永遠の心の平和を説く

―出家とその弟子

倉田百三著

二年　大島亮介

この本は親鸞上人と彼の弟子や子として怒らぬ上人の寛大な態度は、上人の心の広さを良く表わしている。この様な親鸞と、彼の子である優秀性、文学性、芸術性を表しこの小説は非凡なる音楽的才能を持ちながら、あまりにも誠実で、純潔で、ひたむきな一少年が父親の無理解と形式的な学校の圧迫感の板ばさみになって、自から生命を絶つ物語である。

少年の父は、自分が学生時代に音楽に熱中し、学業を怠けた苦い経験から息子ハイナーの音楽的天分を無視して勉強を強制する。ハイナーは父の希望通り必死になって勉学に、勤しむが成績は下降の一途をたどり再度落第、ハイナーは、遂に森の中で胸を射ぬいて自から若き生命を絶つ。しかしその死顔には、粗野であるがこの

若い生命の悲しい調べ

春の調べ

シュトラウス著

二年　R・O

この中には、単なる学校小説、教育説等とは違い、恋愛・音楽・友情・詩・親子の愛情・死・形式的な学校に対する疑惑等、若い世代の様々な問題が、盛りだくさん含まれている。死にぎわになっても、詩を読んだり、オカリナを吹いたり、決して冷静さを失わずに死んだハイナーの死顔の微笑は、勝利の笑顔のように思われる。このように、この小説は、ヘルデルリーンの詩と共に散った若い生命の悲しい調べである。

角川文庫　一〇〇円

校内散歩

近代的設備を誇る

戦時中活躍のミシン

割烹室

本校が誇る特別教室の一つである割烹室は北舎にある。食堂へ行くまでに臭覚がすばやく動揺する場所である。廊下を歩いている時なぜに、油のはじける音などを聞けば空腹を感じないわけにはいかない。

この部屋は、学校創立と同じにできたのであるから四十周年を迎へるわけである。

当時コンクリート床であったものが、冷えるとの理由からその後その上から板をはった為、調理台の高さが低すぎて何かと不自由になり、高校発足と共に家庭科の授業内容が改革されるに及んで設備も新しく改築されるに至った。

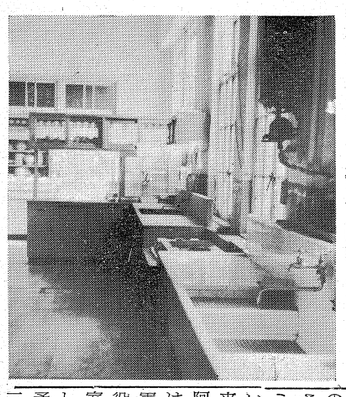
戦前は、学校での調理が主であったため、調理室もグループ即ち共同調理台が幾つも設置されていたが、戦後新教育制度に則って、ユニットキッチンの形式がとり入れられ、学校調理、家庭調理をモットーとして作られた。つまり家庭のAクラス、Bクラス、Cクラスなどの台所設備を整え、いろいろ使用してみる事によって日常生活に、その体験をできるだけ生かし家庭改善の一歩となる事を念願とし、また調理実習も単に調理するだけでなく、栄養的利点や、化学的実験も取り入れた調理実習を行い食品色素の研究、おいしく食べる食品の研究を進めてきている。

昭和三十一年の第二回改正によって、台所用品も大々的に設備されミキサー、アイスクリームフリーガー、ガスオーブンなど、近代的器具が次々と設置された。またその当時大阪府のトップを切って電気冷蔵庫が設置された。

部屋のまわりには、流し台、調理台、ガス台の順に配置され、中央には大きなデコラ張りの試食台が縦に長く並べてある。つきあたりの戸棚には、西洋食器約五〇〇枚和食器三〇〇枚、中華食器二〇〇枚ずつ位、六〇人分程度の食器が数多く美しく整頓されている。

家庭科担当の先生は和食器は以前と現在との食事形式が担当変わったので、今後はなるべく古風なものを使わずに、混合形式の食器を多くとり入れていきたいとおっしゃっている。

しかし、生徒の間では、割烹室に対する不満は少ない。食器の事に対しても同様である。



将来立派な奥さまとなるための修業の場

被服室

北舎二階の真中に、割烹室と共に女生徒専用、男子入室禁止の部屋被服室がある。放課後南側の校舎から見ればいつも白いカーテンが引かれてある。教室内に一歩はいると非常におちついた感じがし、又机の上は何一つ傷がなくやはり女生徒だけの教室という感じがする。

この部屋は普通教室と同じく使用頻度が高く、私達自身が身につける被服から家族の服装にいたるまでの理論と実際を学んだり、又服装の美を表現するための努力を重ねるところである。

創立当時とは大分変化があり、当時は南舎二階の三教室（今の二年三・四・五組）と現在の被服教室とその隣りの教室（一年八組）との計五教室が被服教室として使用されていた。その中の一教室は、ミシンが部屋一ぱい並んでいて、いつでもミシン教室として使用出来るよう設備されていた。

阿倍野女学校時代これらのミシンは、戦時中は被服縫製工場とし海軍の軍衣の下着を作るのに大いに役立ったそうだ。現在は北舎一教室が唯一の被服室の名残りをのこしている。時代の推移により盗難予防のため皆の不自由さを忍んで三十五台のミシンはロッカーにしまわれ、使用ごとに出し入れしている。部屋の回りに窓と平行にミシン台が置かれてあるが、三十五台とも大正年間に購入されたもので当時から個人個人が心がけて大切に使用した為、今日もまだ被服の授業のつとめを果たしている。壁の色も明かるさなどの事を考え又布の色を正しく判断するためにユートラルカラー（無彩色）に近いものを塗ってある。

又、この教室は普通教室と同様、家庭クラブ役員が定期的に集まって、クラブ運営のため、いろいろ意見交換をするための場ともなっている。校務員室のある所に昨年まであった洗濯室も、また、被服科授業の一部として、繕雑の研究や洗濯、染色等するのに活躍していた。

しかし校務員室も改築されてなくなってしまった。出来るだけ早くもとの洗濯室以上の部屋を作ってほしいものだとの意見が多くきかれる。

保健室より

インフルエンザ

今年はA型・B型

早期発見が大切

インフルエンザは、寒気を覚えると同時に発病し、強い風邪の症状で、特に筋肉疼痛（背なか腰手足）と高熱を伴う原因はインフルエンザヴィールスによる。ヴィールスには**A B C D E**とあるが現在のはAとBである。予防の方法としてはいろいろあってまず予防注射については、流行の時期によってはヴィールスの性質が異なるため、ワクチンの効果の持続時間が短かい。

（予防接種後約二週間経過しないと効果が現われない。）一般的な予防注意としては、まず日常生活を規則正しく、睡眠、栄養を充分取り、過労にならぬようにする。流行期には映画館などに行かない。外出から帰った時は、必ず手を洗い、うがいをする。気分の悪い時は早く医師に見てもらう（早期発見、早期治療。）

インフルエンザになった時は

(1)安静に休養すること。（肺炎などの合併症予防のため。）

(2)他人に感染させないようにマスクをかける。

(3)別室に隔離する。別室のない時はカーテン、屏風、衝立などで健康な人と隔てる

(4)つば、たん、鼻汁などで汚染された紙片、布片などは焼却し、便用した居室の換気、日光の射入をよくし、衣類寝具などを日光消毒する。

(5)発熱時には安静にし、十分な水分と流動食（カロリーに富んだ食物）をとる。

スポーツ観戦記

大阪高校新人大会（卓球）

松岡さん五回戦で破れる

本校の卓球部女子部員は、十月十四日、藤井寺で行なわれた〝大阪高校新人大会女子之部〟に出場松岡（一の9）の五回戦進出をもって、全員破れ去った。以下はその配録である。

〔三宅戦〕

一回戦　不戦勝

二回戦　0―2（成蹊）

一回戦が不戦勝だったせいか、速く調子にのれなかったようだ最後まで慎重に戦っていたが、相手の、特に三球目のコースの良さに勝てなかった。

〔小川戦〕

一・二回戦ともにカットの良さで勝ちを奪ったが、三回戦の相手四天王寺もまたカットマンで激戦の末、ねばりの点で負けてしまった。もう少し変化のあるサーブがほしかった。

〔東山戦〕

一回戦　2―0（清友）

二回戦　2―0（扇町商）

三回戦　2―0（四天王寺）

四回戦　0―2（成蹊）

一回戦　2―0（愛景）

二回戦　2―0（樟陰）

三回戦　0―2（四天王寺）

一回、二回戦は不調であったが最後までピン球によくついていき、油断した相手をこ、ずらせていた。三回戦の相手はカットマンで心配されたが、サーブをよくきかせ、余裕のある戦いぶりを見せていた。四回戦一セット目は8対20とよくついていきサーブの出し方、フットワーク打ち合いに入った時のねばりはすばらしかった。が二セット目は完全に相手のペースにのせられてしまっていた。

〔松岡戦〕

一回戦　2―0（堺商）

二回戦　2―0（愛景）

三回戦　2―0（大谷）

四回戦　2―1（四天王寺）

五回戦　0―2（住商）

一回戦の好調にくらべ、二、三回戦は少し上りぎみだった。四回戦一セット目は松岡、二セット目は四天王寺が取り、三セット目があやぶまれたが、気をとりなおし10点先取、コートチェンジをした後は余裕を取り戻した。五回戦、最初はすてみでぶつかり、よく頑張ったが、二セット目26対19の時、相手のサーブを無理に打ってしまった。全体にみて、試合があらい。最後の精神力と慎重さがほしかった。

オープン戦（野球）

強豪PLくだす

そつのない攻撃

◇十月十三日（土）

（於P・L学園Bグランド）

阿倍野	0	0	2	0	0	0	4	1		7
P・L	0	0	0	0	3	0	0	1		4

投手・五十川―捕手・臼井（阿）

森永―高松（P）

三十七年春・夏連続甲子園出場、また国体出場と、府下では最近一番名声を上げているP・L学園とオープン戦を行った。グランドは二つあり、藤井寺球場のような設備の整ったもので、スコアボードもつくし、公式試合を行っているようであった。本校はファイトでもって強豪P・Lに対し、7対4で勝った。一年生中心の若いチームであるが今後の野球部に期待が持てる。

（経過）

先行阿倍野は、三回まで、安打を打ちながら、森永投手におさえられ得点には結びつかなかった。しかし四回表、三番森実君から始まる好打順で、森実君・能登君の連続安打で無死一、二塁、五番中馬君の犠打で一死二、三塁と得点圏内に送り、先取点のチャンスをむかえた。五番吉田君のスクイズが失敗し、森実君が本塁でタッチアウト。二死一、三塁となりチャンスは消えたかのようにみえたが、七番浦羽君の左中間の二塁打が出て一きょに四、六番が帰り、二点を先取した。一方強打を誇るP・Lは四回まで、本校のエース五十川君におさえられ、無安打。しかし、先取点を取られたP・Lは、五回の裏すかさず、三塁打、二塁打など長短打三本と野選でうまく得点に結びつけ、三点を入れ逆点した。六、七回は両軍、得点なくP・L優勢のうちに試合は進められていった。八回の表、本校は九番から始まり、一死後一番の臼井君がレフト前の安打で出塁、二番五十川君が、野選で、一死一、二塁と、同点あるいは勝ち越しのラッキャンナーを出した。三番のショート前の内野安打で、一死満塁の最大のチャンスを迎えた。そして、能登君に右翼線ぎりぎりに入るしぶい三塁打が出て、打者三人を迎えて逆点に成功し、四番の真禄を見せた。さらに五番のスクイズで一点追加。この回一挙四点をあげた。一番から五番の上位打線の速攻は、すばらしいものであった。その裏P・Lは一点をあげ、二点差に迫ったが、本校は九回にもダメ押し点ともなるべき一点を入れてP・Lの最後の反撃も、五十川君がおさえきり、7対4のスコアをもってP・Lをくだした。本校は安打八本で、得点七点と無駄のない快心の試合振りであった。

練習不足ひびく

（ラグビー）

◇十月二十七日（土）

（於阿倍高グランド）

阿倍野3―15生野

十月二十七日午後二時四五分から本校第二運動場において約一時間にわたって生野高校と練習試合が行われた。

試合前の阿倍高チームは新調のユニホームを着て張りきっていた。生野高チームはA級で小柄であるが、がっちりとして、いかにもラガーマンらしかった。試合開始とともにシャープな動きの生野高チームが一トライ先取し、阿倍高チームの練習不足のせいかまたもや一トライした。その時生野高チームから足をかけたと抗議が出て、あわや喧嘩になるかと思われたがその場は無事解決。結局前半は、生野高チームの三トライ獲得に終った。後半は、ハーフタイムの時阿倍高チームは先輩から激励の言葉を受けていたせいか、前半にとられた点数を挽回しようと全員フォワードを燃やしていたが、またもや一トライ、引きつづき二トライとられ、結局十五対三で生野高チームの勝利をもって試合終了となった。

キューポラのある街

一少女の苦悩を描く

一年　演劇鑑賞

十月二十六日、本校講堂においてキューポラのある街〟が、関西芸術座の人々によって、三幕六場約二時間にわたって上演された。キューポラとは溶解炉のことで、それが立ち並ぶ川口市の露地裏、カナ気くさい鋳物工場の町に建つ零細家庭を舞台に、進学と就職の問題に悩む少女とその一家を中心として、朝鮮人の生活、社会問題がからみ、十代の少年少女の生活と成長、親子関係がきびしく追求されていく。

これを鑑賞したのは、一年生全員で特別教育活動の一環として行なわれたものである。映画その他で広く知られている場面がくり広げられ、劇団の方の熱演に応じて、見る方も熱心な態度で鑑賞した。

あっ！火事だ

秋の防火訓練行わる

総計四百

十四件　一位

東京五十五件　二位

大阪四十五件　三位

北海道三十八件などでその大部分が原因不明の出火だった。

バケツリレーで防火訓練風景

編輯後記

◇　四十周年特集記念号を、苦心〝史〟を参考にして部員が、カメラの末やっとここに発行することが出来ました。見苦しい点も多いでしょうが、お許し下さい。

◇　本紙を発刊するに際して御協力下さいました諸先生方並びに生徒諸君に対して部員一同心から御礼を申し上げます。

◇　新聞部アンケートに御協力下さったので、高回収率を上げることが出来ました。

◇　〝阿倍高四十年の足跡を見る〟の写真の一部は、写真部同窓生〟りんどう会〟からお借りいたしました。

◇　郷土史の記事は、〝阿倍野区誌〟を参考にして今回の号より〝スポーツ観戦記〟を掲載することになりました。これは、各運動クラブの試合の模様を、見られない皆さん方に観戦状況を知らせるものです。

◇　今迄部員であった二年五組の井上晟君と二年四組の田中寧子さんは退部し、新聞部とは関係ありません。

◇　新入部員として、一年三組の木下明臣君と・兼頭八郎君・楠神正美君等を迎えることになりました。今後、現在の部員同様よろしくお願いします。

◇　〝阿倍高案内〟三行広告は、クラブに限っていませんからどしどし申し込んで下さい。

◇　先号（一一九号）の三面の体育大会の記事で、二年優勝二年三組となっていましたが二年二組のあやまりです。

◇新聞部では、今日、明日の二日間、南舎二階の新聞部々室において、〝新聞の出来るまで〟を展示しますので、多数御来場下さい。

カワハラ光芸
KAWAHARA KOGEI
カメラとD.P.E.
地下鉄・昭和町　北口前

回転焼
てつや
本校校門前道路南つきあたり